

路盤材材料試験結果報告書

依頼者：株式会社 早出川建設

材料名：粒度調整碎石(M-25)山砕

材料産地：東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内

令和 8 年 3 月

本間道路株式会社 試験センター

〒959-1604 新潟県五泉市論瀬8803番地1

TEL:0250-42-5560

FAX:0250-47-7071

試験概要

依頼者：株式会社 早出川建設

材料名：粒度調整砕石(M-25)山砕

材料産地：東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内

試験期間：自 令和 8 年 1 月 20 日
至 令和 8 年 3 月 27 日

試験内容：試験内容は以下のとおりである。

- | | | |
|---------------------------|-------|------------|
| 1) 骨材のふるい分け試験 | …………… | JIS A 1102 |
| 2) 粗骨材の密度および吸水率試験 | …………… | JIS A 1110 |
| 3) ロサンゼルス機による粗骨材のすり減り減量試験 | …………… | JIS A 1121 |
| 4) 硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験 | …………… | JIS A 1122 |
| 5) 土の液性限界・塑性限界試験 | …………… | JIS A 1205 |
| 6) 突固めによる土の締固め試験 | …………… | JIS A 1210 |
| 7) 修正CBR試験 | …………… | 舗装調査・試験法便覧 |

試験会社：本間道路株式会社 試験センター

路盤材材料試験結果一覧表

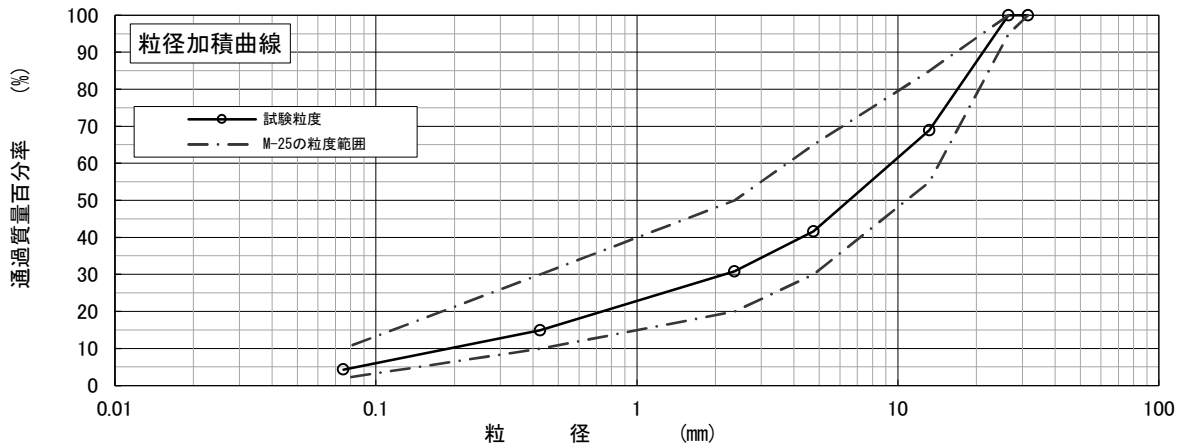
材 料 名 : 粒度調整碎石(M-25)山砕

試 験 年 月 日 : 2026年3月27日

用 途 : 上層路盤

整 理 担 当 者 : 樋山 義弘

試 験 項 目		試 験 規 格	試 験 値	規 格 値	
一 般	含水比(搬入時) (%)	JIS A 1203	—		
	密度・吸水率	表 乾 密 度 (g/cm ³)	JIS A 1109 JIS A 1110	2.67	
		か さ 密 度 (g/cm ³)		2.65	
		見 掛 密 度 (g/cm ³)		2.70	
		吸 水 率		0.62	
	コン シス テン シー	液 性 限 界 (%)	JIS A 1205	N.P	
		塑 性 限 界 (%)		N.P	
		塑 性 指 数		N.P	4以下
	すり減り減量 (%)	JIS A 1121	16.3	50以下	
	損 失 量 (%)	JIS A 1122	4.4	20以下	
異 物 混 入 率 (%)	※1	—			
粒 度 特 性	通 過 質 量 百 分 率 (%)	53 (mm)			
		37.5			
		31.5	100.0	100	
		26.5	100.0	95 ~ 100	
		19			
		13.2	68.9	55 ~ 85	
		4.75	41.6	30 ~ 65	
		2.36	30.8	20 ~ 50	
		0.425	14.9	10 ~ 30	
		0.075	4.3	2 ~ 10	
締 固 め 特 性	試 験 方 法	JIS A 1210	E-b法		
	最 大 乾 燥 密 度 (g/cm ³)		2.097		
	最 適 含 水 比 (%)		6.0		
	修 正 CBR (%)		89.3	80以上	



備考) ※1 コンクリート系・アスファルト系再生材利用の手引き(案)

JIS A 1110	粗骨材の密度および吸水率試験
------------	-----------------------

試料番号	粒度調整砕石 (M-25) 山砕	試験年月日	2026年3月5日
試料産地	東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内	試験者	樋山 義弘

試験時の水温 20 °C 骨材の最大寸法 13.2 mm

試験水温時の水の密度 $\rho_w = 0.9982$ g/cm³

測定番号	1	2	3	4
① 表乾試料+容器質量 (g)	4132.4	4233.0		
② 容器質量 (g)	576.0	580.4		
③ 表乾試料質量 (g)	①-②	3556.4	3652.6	
④ (かご+試料)水中質量 (g)	2224.4	2286.6		
⑤ かごの水中質量 (g)	0.0	0.0		
⑥ 試料の水中質量 (g)	④-⑤	2224.4	2286.6	
⑦ 表乾密度 (g/cm ³)	③・ ρ_w / (③-⑥)	2.67	2.67	
平均値	2.67			
⑧ 乾燥後の試料質量 (g)	3534.5	3630.1		
⑨ かさ密度 (g/cm ³)	⑧・ ρ_w / (③-⑥)	2.65	2.65	
平均値	2.65			
⑩ 見掛密度 (g/cm ³)	⑧・ ρ_w / (⑧-⑥)	2.69	2.70	
平均値	2.70			
⑪ 吸水率 (%)	(③-⑧) / ⑧ × 100	0.62	0.62	
平均値	0.62			

備考

調査件名 路盤材 材料試験

試験年月日 2026年 3月 13日

試験者 樋山 義弘

試料番号(深さ) 粒度調整砕石 (M-25) 山砕

25

液性限界試験

落下回数

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

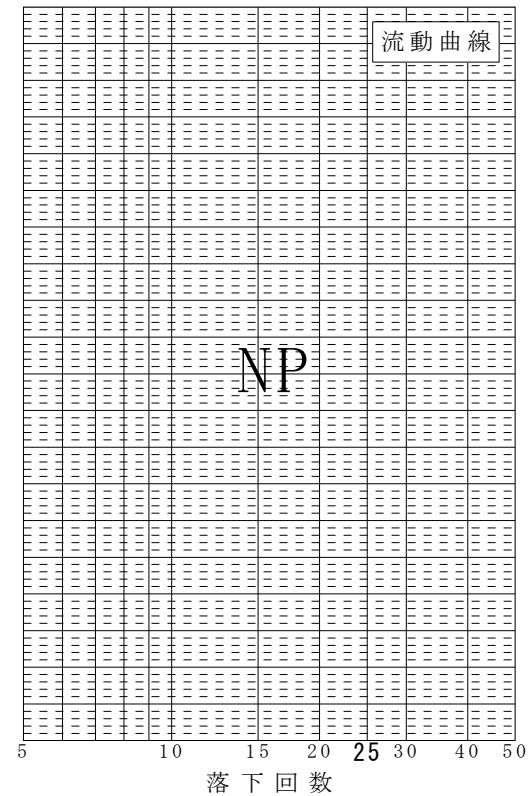
落下回数

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

塑性限界試験

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

液性限界 ω_L %	塑性限界 ω_P %	塑性指数 I_P
NP	NP	NP



試料番号(深さ)

液性限界試験

落下回数

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

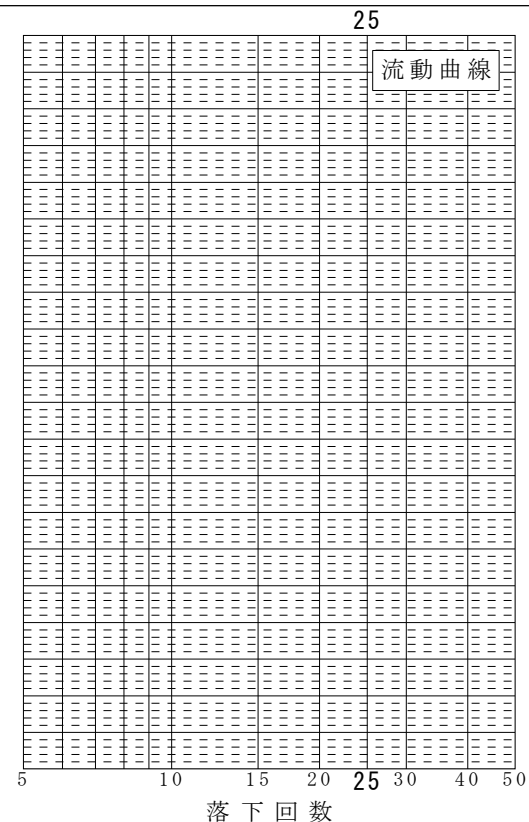
落下回数

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

塑性限界試験

含水比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
	ω %		

液性限界 ω_L %	塑性限界 ω_P %	塑性指数 I_P



特記事項

砂分多く、試験不可。

JIS A 1122	骨 材 の 安 定 性 試 験
------------	-----------------

調 査 名 : 路盤材材料試験 試験年月日: 2026年3月10日

試 料 番 号: 粒度調整砕石 (M-25) 山砕 試験場所 : 本間道路(株) 試験センター

採 取 場 所: 東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内 試 験 者: 樋山 義弘

試験用溶液の種類: 硫酸ナトリウム飽和溶液 繰返し回数: 5 回

試験用溶液の比重: 1.166 溶液の温度: 20 °C

測定番号	ふるいの呼び寸法で 区分した各群の粒径 の範囲 (mm)		①	②	③	④	⑤	⑥
			ふるい分け試験		試験前の各群 の試料質量 (g)	試験後の各群 の試料質量 (g)	各群の試料の 損失質量百分 率 (%)	各群別骨材の 損失質量百分 率 (%)
	通る ふるい	留まる ふるい	残留質量 (g)	各群の質量 百分率 (%)			(1-④/③) ×100	②×⑤/100
1	53	37.5		0.0	—	—	—	—
	37.5	31.5		0.0	—	—	—	—
	31.5	19		22.4	1000.3	938.8	6.1	1.4
	19	13.2		22.5	750.2	718.7	4.2	0.9
	13.2	9.5		14.6	500.0	471.1	5.8	0.8
	9.5	4.75		24.9	300.0	288.4	3.9	1.0
	4.75	2.36		15.6	200.0	197.3	1.4	0.2
	合 計			100.0	骨材の損失百分率 (%)		Σ⑥	
2	53	37.5		0.0	—	—	—	—
	37.5	31.5		0.0	—	—	—	—
	31.5	19		22.4	1000.4	922.5	7.8	1.7
	19	13.2		22.5	750.3	708.0	5.6	1.3
	13.2	9.5		14.6	500.0	478.6	4.3	0.6
	9.5	4.75		24.9	300.0	292.3	2.6	0.6
	4.75	2.36		15.6	200.0	198.0	1.0	0.2
	合 計			100.0	骨材の損失百分率 (%)		Σ⑥	

備考 20 mm より大きい粒径の骨材数個
 試験後異状が認められた骨材数個

平 均 = 4.4

JIS A 1102	骨材のふるい分け試験
------------	------------

調査名・目的 路盤材材料試験	試験年月日 2026年3月11日
試料番号 粒度調整砕石 (M-25) 山砕	使用場所 本間道路(株)試験センター
試料採取場所 東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内	試験者 樋山 義弘

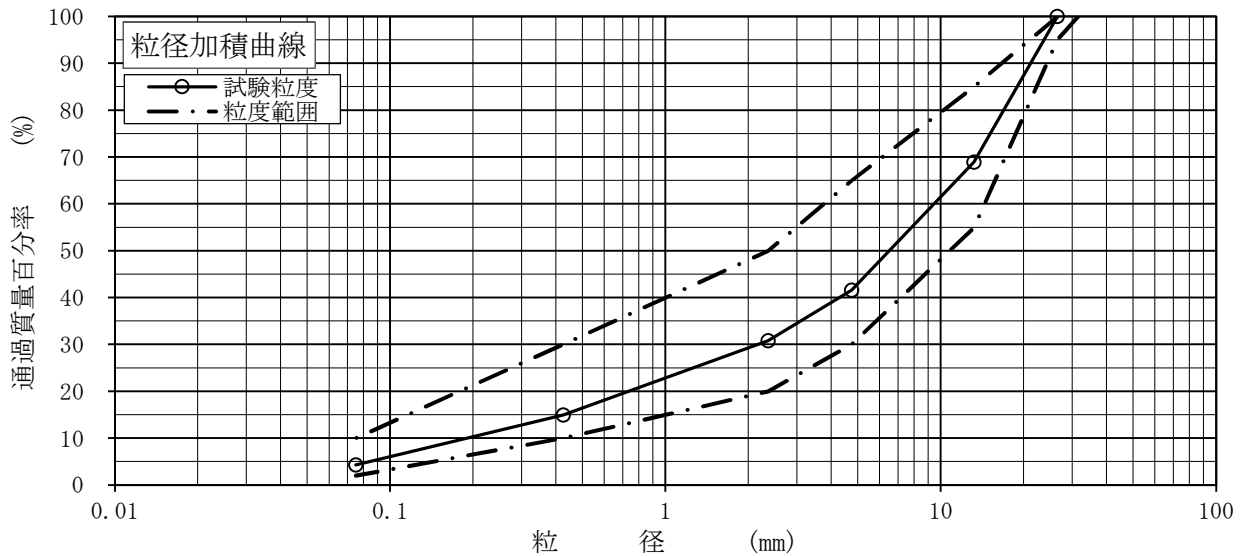
(全試料+容器)質量	15720.5 g	(2.36mm通過試料+容器)質量	10872.5 g
容器質量	0.0 g	容器質量	0.0 g
全試料質量	15720.5 g	2.36mm通過試料質量	4848.0 g
2.36mm残留試料質量	10872.5 g	全試料に対する2.36mm通過試料の割合	30.839 %

2.36mmふるい残留試料のふるい分け

ふるい (mm)	加積残留試料+容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)
75					
53					
37.5					
* 31.5					
* 26.5			0.0	0.0	100.0
19					
* 13.2			4886.9	31.1	68.9
9.5					
* 4.75			9177.0	58.4	41.6
* 2.36			10872.5	69.2	30.8

2.36mmふるい通過試料のふるい分け

ふるい (mm)	加積残留試料+容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	全試料に対する通過質量百分率 (%)
1.18						
0.6						
* 0.425			2513.1	51.8	48.2	14.9
0.3						
0.15						
* 0.075			4175.0	86.1	13.9	4.3



JIS A 1210 JGS 0711	突固めによる土の締固め試験（測定）
------------------------	-------------------

調査件名 路盤材 材料試験

試験年月日 2026年 3月 9日

試料番号(深 さ) 粒度調整碎石 (M-25) 山砕

試験者 樋山 義弘

試験方法		E-b	土質名称				
試料の準備方法		乾燥法	ランマー質量 kg	4.5	モ ー ル ド	内径 cm	15
試料の使用方法		非繰返し法	落下高さ cm	45		高さ ¹⁾ cm	12.5
含水比	試料分取後 ω_0 %		突固め回数 回/層	92		容量 V cm ³	2209
	乾燥処理後 ω_1 %		突固め層数 層	3		質量 m_l ²⁾ g	3881
測定 No.		1	2	3	4		
(試料+モールド)質量 m_2 ²⁾ g		8434	8547	8651	8733		
湿潤密度 ρ_t g/cm ³		2.061	2.112	2.159	2.196		
平均含水比 ω %		2.6	3.5	4.4	5.2		
乾燥密度 ρ_d g/cm ³		2.009	2.041	2.068	2.087		
含水比	容器 No.	267	257	245	265		
	m_a g	5392.7	5516.4	5631.4	5717.1		
	m_b g	5276.7	5357.3	5432.8	5476.8		
	m_c g	858.4	859.9	871.1	876.4		
	ω %	2.6	3.5	4.4	5.2		
含水比	容器 No.						
	m_a g						
	m_b g						
	m_c g						
	ω %						
測定 No.		5	6	7	8		
(試料+モールド)質量 m_2 ²⁾ g		8799	8788				
湿潤密度 ρ_t g/cm ³		2.226	2.221				
平均含水比 ω %		6.2	7.0				
乾燥密度 ρ_d g/cm ³		2.096	2.076				
含水比	容器 No.	266	259				
	m_a g	5786.3	5755.7				
	m_b g	5499.8	5435.3				
	m_c g	880.6	859.9				
	ω %	6.2	7.0				
含水比	容器 No.						
	m_a g						
	m_b g						
	m_c g						
	ω %						

特記事項

- 1) 内径15 cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は底板を含む。

$$\rho_d = \frac{\rho_t}{1 + \omega / 100}$$

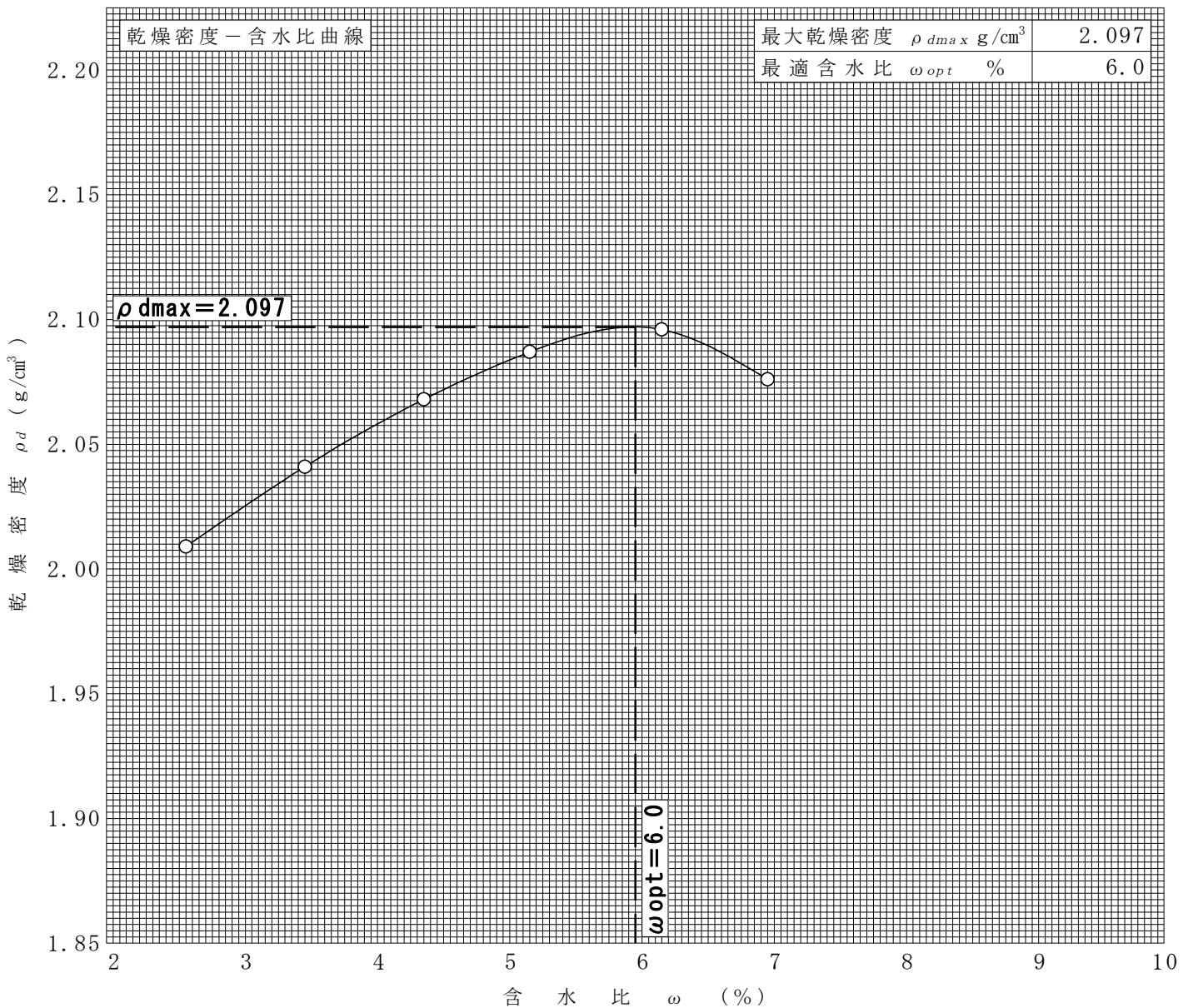
調査件名 路盤材 材料試験

試験年月日 2026年 3月 9日

試料番号(深 さ) 粒度調整碎石 (M-25) 山砕

試験者 樋山 義弘

試験方法	E-b		土質名称					
試料の準備方法	乾燥法		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³			
試料の使用方法	非繰返し法		落下高さ cm	45	試料調整前の最大粒径 mm 37.5			
含水比	試料分取後 ω_0 %			突固め回数 回/層	92	モールド	内径 cm	15
	乾燥処理後 ω_1 %			突固め層数 層	3		高さ ¹⁾ cm	12.5
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 ω %	2.6	3.5	4.4	5.2	6.2	7.0		
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.009	2.041	2.068	2.087	2.096	2.076		



特記事項

1) 内径15 cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho \omega}{\rho \omega / \rho_s + \omega / 100}$$

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名 路盤材 材料試験 試験年月日 2026年 3月 12日

試料番号(深 さ) 粒度調整砕石 (M-25) 山砕 試験者 樋山 義弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %			
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	92	最適含水比 ω_{opt} %	6.0	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.097	
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ ¹⁾ cm	12.5	モールド容量 V cm ³	2209

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.							
	m_a g							
	m_b g							
	m_c g							
	ω_1 %							
平均値 ω_1 %		6.0		6.0		6.0		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{2)}$ g	11742		11730		11734		
	モールド質量 $m_l^{2)}$ g	6875		6851		6862		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.203		2.209		2.206		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.078		2.084		2.081		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0							
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96							
試験	(試料+モールド)質量 $m_3^{2)}$ g	11807		11788		11792		
	膨張比 γ_e %							
	湿潤密度 ρ'_t g/cm ³							
	乾燥密度 ρ'_d g/cm ³							
	平均含水比 ω' %							

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 路盤材 材料試験

試験年月日 2026年 3月 16日

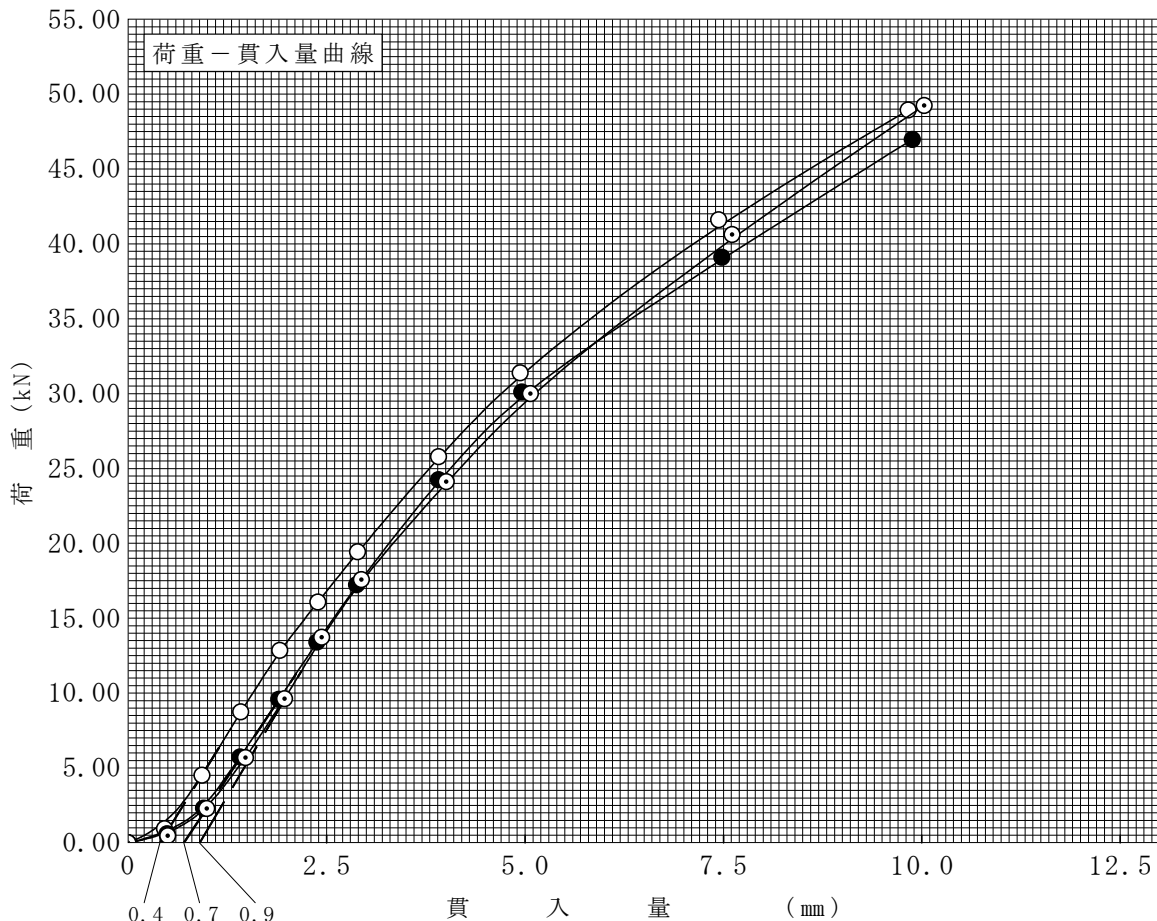
試料番号(深 さ) 粒度調整砕石 (M-25) 山砕

試 験 者 樋 山 義 弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	92	自然含水比 ω_n	%
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³
	4日水浸		高さ ¹⁾	cm		

供 試 体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1 %	6.0	6.0	6.0
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.078	2.084	2.081
	後	膨張比 γ_e %			
		平均含水比 ω' %			
		乾燥密度 ρ'_d g/cm ³			
貫入試験	試験後の含水比 ω_2 %				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		145.1	144.8	152.1
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		166.9	164.4	168.1
	C B R %		166.9	164.4	168.1

平均 C B R %
166.5



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

○—○ 1
●—● 2
◐—◐ 3

貫入量 mm	2.5	5.0
荷 1 試体 No.	19.447	33.204
荷 2 試体 No.	19.402	32.718
荷 3 試体 No.	20.382	33.460
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名 路盤材 材料試験 試験年月日 2026年 3月 12日

試料番号(深 さ) 粒度調整砕石 (M-25) 山砕 試験者 樋山 義弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称		
突固め方法	修	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %		
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	42	最適含水比 ω_{opt} %	6.0
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.097
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg
		高さ ¹⁾ cm		12.5	モールド容量 V cm ³	2209

供試体 No.		4		5		6		
含水比	容器 No.							
	m_a g							
	m_b g							
	m_c g							
	ω_1 %							
平均値 ω_1 %		6.0		6.0		6.0		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{2)}$ g	11537		11630		11514		
	モールド質量 $m_l^{2)}$ g	6855		6902		6819		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.120		2.140		2.125		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.000		2.019		2.005		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0							
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96							
(試料+モールド)質量 $m_3^{2)}$ g		11607		11708		11586		
膨張比 γ_e %								
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³								
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³								
平均含水比 ω' %								

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

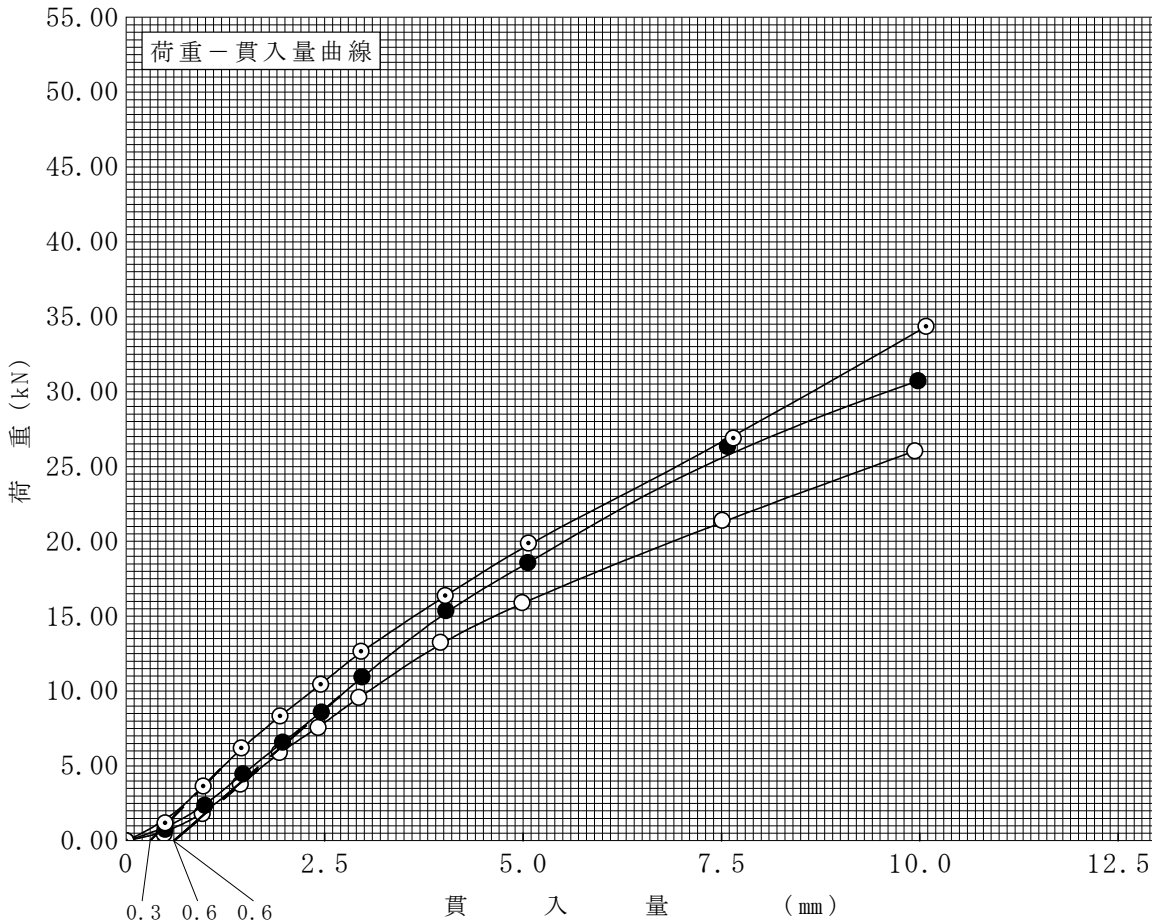
$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 路盤材 材料試験 試験年月日 2026年 3月 16日

試料番号(深 さ) 粒度調整碎石 (M-25) 山砕 試 験 者 樋 山 義 弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%		
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	42	自然含水比 ω_n	%		
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	6.0		
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³		
	4日水浸		高さ ¹⁾	cm			12.5	
供試体 No.		4		5		6		
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1	6.0		6.0		6.0	
		乾燥密度 ρ_d	2.000		2.019		2.005	
	後	膨張比 γ_e						
		平均含水比 ω'						
		乾燥密度 ρ'_d						
貫入試験	試験後の含水比 ω_2							
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		75.9		85.6		89.2	
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		86.6		101.7		102.7	
	C B R %		86.6		101.7		102.7	

平均 C B R %
97.0



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0
荷 4	10.170	17.235
荷 5	11.470	20.234
荷 6	11.951	20.445
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名 路盤材 材料試験 試験年月日 2026年 3月 12日

試料番号(深 さ) 粒度調整砕石 (M-25) 山砕 試験者 樋山 義弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称		
突固め方法	修	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %		
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	17	最適含水比 ω_{opt} %	6.0
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.097
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg
		高さ ¹⁾ cm		12.5	モールド容量 V cm ³	2209

供試体 No.		7		8		9		
含水比	容器 No.							
	m_a g							
	m_b g							
	m_c g							
	ω_1 %							
平均値 ω_1 %		6.0		6.0		6.0		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{2)}$ g	11436		11409		11430		
	モールド質量 $m_l^{2)}$ g	6833		6814		6844		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.084		2.080		2.076		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.966		1.962		1.958		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0							
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96							
(試料+モールド)質量 $m_3^{2)}$ g		11538		11505		11521		
膨張比 γ_e %								
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³								
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³								
平均含水比 ω' %								

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 路盤材 材料試験

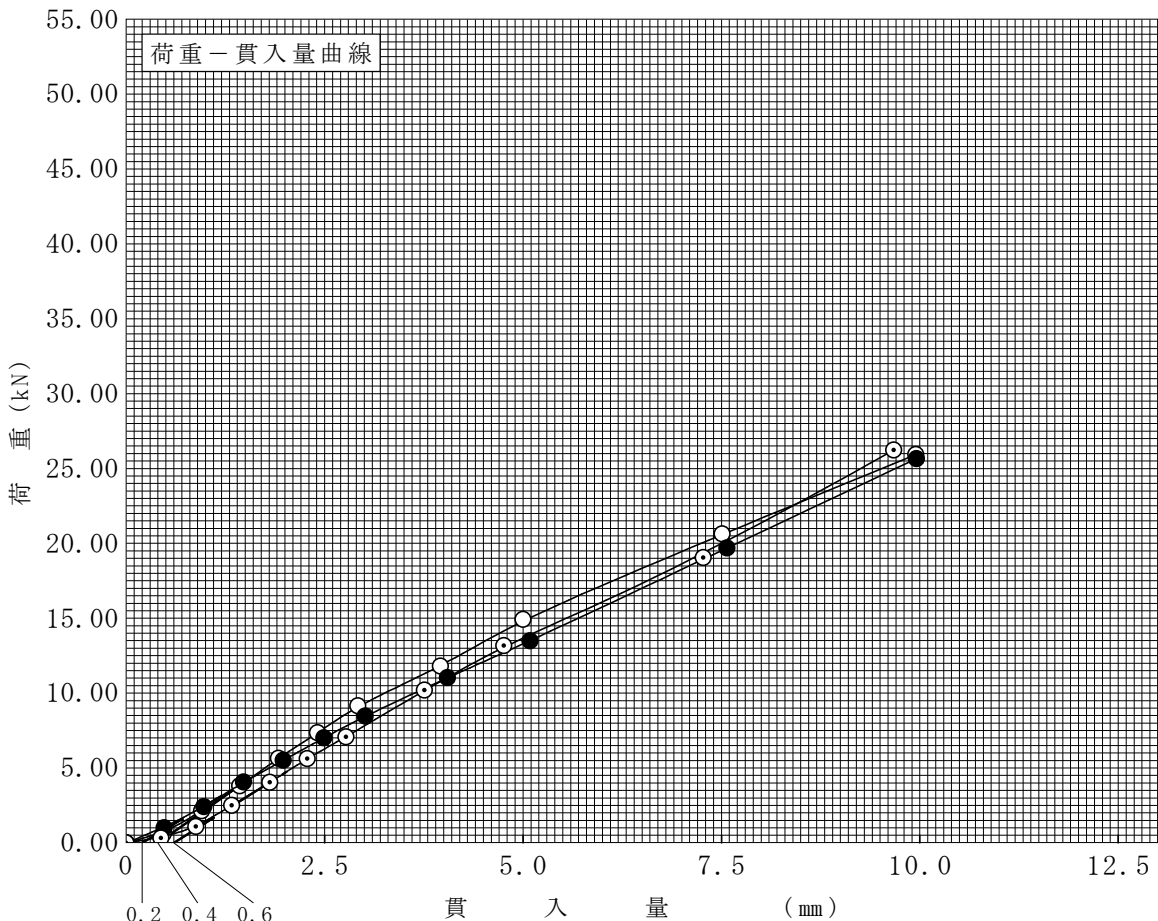
試験年月日 2026年 3月 16日

試料番号(深 さ) 粒度調整砕石 (M-25) 山砕

試験者 樋山 義弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%		
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	17	自然含水比 ω_n	%		
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%		
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³	
	4日水浸		高さ ¹⁾	cm	12.5			
供試体 No.		7		8		9		
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1	%		6.0		6.0	
		乾燥密度 ρ_d	g/cm ³		1.966		1.962	
	後	膨張比 γ_e	%					
		平均含水比 ω'	%					
		乾燥密度 ρ'_d	g/cm ³					
貫入試験	試験後の含水比 ω_2		%					
	貫入量2.5mmにおけるCBR		%		67.2		56.7	
	貫入量5.0mmにおけるCBR		%		79.4		69.2	
	C B R		%		79.4		69.2	

平均 C B R %
74.9



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0	
荷重	供試体 No. 7	9.009	15.793
	供試体 No. 8	7.599	13.774
	供試体 No. 9	8.121	15.133
標準荷重 kN	13.4	19.9	

修正 C B R 試 験

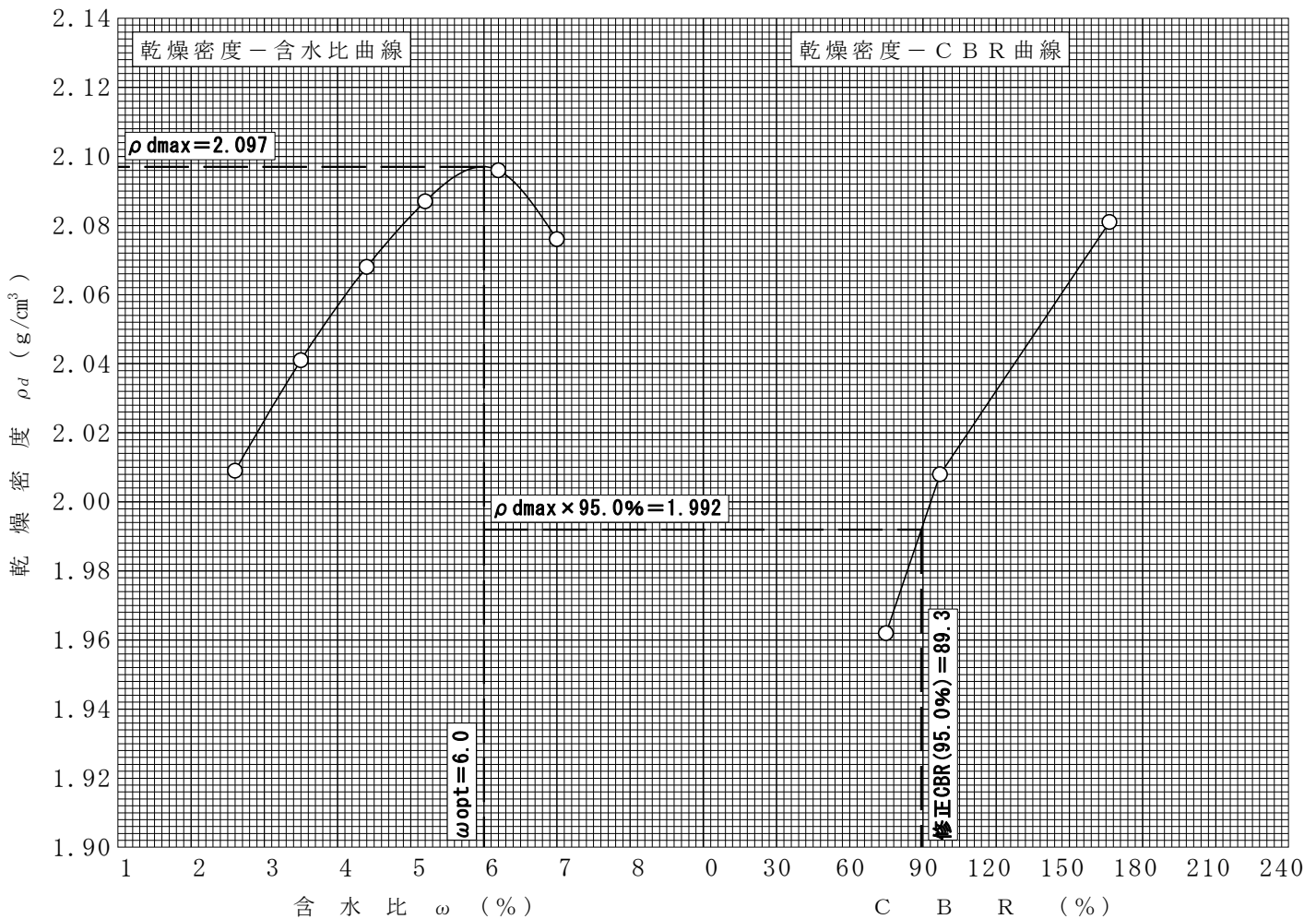
調査件名 路盤材 材料試験

試験年月日 2026年 3月 16日

試料番号(深 さ) 粒度調整砕石 (M-25) 山砕

試 験 者 樋 山 義 弘

供 試 体 No.	92-1, 2, 3			42-4, 5, 6			17-7, 8, 9		
突 固 め 回 数 回/層	92 (3 層)			42 (3 層)			17 (3 層)		
乾 燥 密 度 ρ_d g/cm ³	2.078	2.084	2.081	2.000	2.019	2.005	1.966	1.962	1.958
平 均 値 ρ_d g/cm ³	2.081			2.008			1.962		
貫入量2.5mmにおけるCBR %	145.1	144.8	152.1	75.9	85.6	89.2	67.2	56.7	60.6
平 均 値 %	147.3			83.6			61.5		
貫入量5.0mmにおけるCBR %	166.9	164.4	168.1	86.6	101.7	102.7	79.4	69.2	76.0
平 均 値 %	166.5			97.0			74.9		
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.097	締 固 め 度 %	95.0				
		最適含水比 ω_{opt} %	6.0	修正 C B R %	89.3				



特 記 事 項